



自分を見つめる

3学期と共に新しい年を迎えました。本年もよろしくお願いいたします。

3学期はとても短く1・2年生は52日、3年生には45日しかありません。各学年とも収穫の学期であるとともに、次のステージに向けての準備の学期です。本当に短く、中身の濃い学期ですから、生徒の皆さんには1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。

そこで新たな試みとして、「自分の特徴を知る」ということに取り組んでほしいと思います。

人間、生きていけば様々な課題に直面します。しかし、その捉え方はその人の特徴によってそれぞれ違います。捉え方が違えば、行動が変わります。自分の特徴を知り、よりよい行動を考えることは、よりよい自分の成長へとつながるでしょう。まずは、自分の考え方や感じ方などの特徴を知ることです。

交流分析という心理学によると、人はみな5つの側面を持っているそうです。詳細は省きますが、簡単に言うと「厳格」「慈悲深い」「合理的」「自由奔放」「従順」というような側面ですが、それぞれの強弱でその人の性格などを分析できるそうです。詳しくは「エゴグラム」というキーワードで検索すると様々なサイトがヒットします。客観的に自分を把握するツールとして紹介します。何かの機会にぜひ取り組んでみてください。

3学期始業式校長の言葉より

※保護者の方へ：思春期は、自分探しの大切な時期です。自我が芽生え、「自分とは何か」漠然とした問いにもがく時期です。保護者の皆さんのことを今までの様に「父親」や「母親」としてではなく、「一人の人間、独立した人格」として見るようになります。機会があればお子様と一緒にエゴグラムに取り組み、話題にしてみてください。子どもたちにとって、人格形成における、とても重要な物差しになると思います。

村の未来を担う人材 ～3年生中学生議会～

昨年12月22日（月）東秩父村役場の議場において、中学生議会が開かれました。

3年生男子による議長の進行のもと、7名の議員がそれぞれ村の行政についての質問を持ち寄り、高野貞宜村長に丁寧にご答弁いただきました。また、今年度は議員の皆さんへ様々な質問をする機会や、生徒たちなりに「理想の村」の実現のために考えたことを村長にプレゼンテーションを行う機会を設けていただきました。生徒たちにとっては、地域に関心を持ち、さらに社会へ目を向ける機会となるだけでなく、東秩父村の一員であることを強く自覚する貴重な機会となりました。ありがとうございました。



避難訓練 ～命の大切さを改めて～

1月14日(水)3学期の避難訓練が行われました。今回は避難経路の確認などの通常の避難訓練に加え、前回実施できなかった起震車による地震体験と救助袋による避難訓練が行われました。救助袋については、2学期末の12月23日に生徒の皆さんが下校した後、比企広域消防署東秩父分署長の高橋様のご指導のもと、職員全員で設置から撤去、3階ベランダからの避難まで行いました。1年ぶりの訓練ですが、細かいところは忘れていて、一つ一つ確かめながら進めました。いざという時に使えないという状況は避けなければならないと改めて危機感を高めることができました。



新入生説明会

1月15日(木)

来年度入学予定の6年生と保護者の方に来校していただき、中学校体験授業、新入生説明会を行いました。今年度も昨年度に続いて説明会に先立ち、6年生と2年生と一緒に給食を食べました。どちらも久しぶりのうれしい再会に和やかな雰囲気となり、楽しい給食の時間を過ごしていました。



その後は、学校の概要や保健関係、教育相談等の説明の後、体験授業、部活動見学に参加してもらいました。入学への期待が膨らめばうれしいです。

東秩父中生の活躍

第78回比企地区書きぞめ展

特選:2年生 1名

優良:3年生 4名 1年生 2名

埼玉県歯・口の健康啓発標語コンクール

入賞:1年生 1名

埼玉県児童生徒美術展(比企地区展)

特選:2年生 1名

準特選:3年生 2名 1年生 3名